

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006～2009
課題番号：18520114
研究課題名（和文） 現存本の悉皆調査を通じた読本の出版流通に関する書誌学的研究
研究課題名（英文） Bibliographical study on the publishing and trading of Yomihon with the comprehensive survey of the extant copies
研究代表者
高木 元 (TAKAGI Gen)
千葉大学・文学部・教授
研究者番号：00226747

研究分野：人文学
科研費の分科・細目：文学・日本文学
キーワード：読本／出版・流通／書目年表／書誌／近世後期小説／受容史／明治期

1. 研究計画の概要

本研究の最終目的は『読本出版書目年表』の編纂である。読本というジャンルの研究に供する基礎資料の整備を目指す。そのために、国内のみならず、海外に散在する図書館等に蔵される読本の調査をして可能な限り精確な書誌書目解題としての出版年表を作成したい。

2. 研究の進捗状況

以前から継続してきた書誌調査ではあったが、この研究課題で科研を得た三年間で、国内外とも、多くの未知であった所蔵機関や個人コレクションの調査が実施できた。しかし、残念ながらいまだに確実な初板本を見出せない書目も残っている。その上、後摺本や活字翻刻本を含めた調査を志したので、完璧な書誌データの収集を終えたわけではない。悉皆調査を志した以上はあと一年間、可能な限り努力したい。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

(1) 書誌情報の調査収集に関しては、予定していたペースには至らないものの、それでも大量の情報が集められた。調査の過程で未知の所蔵先や個人コレクションが判明することが多かったため、むしろ既知の図書館や機関の蔵諸調査が残されている。

(2) 収集したデジタル画像データから文字データへの変換作業が大幅に遅延している。この作業は研究室で可能なので、問題は時間的な余裕だけにはあるが、計画的に実施していきたい。

4. 今後の研究の推進方策

以上述べてきたように、彼方此方に出向いての現地調査をした上で、収集した書誌情報を記述していく作業が必要であるが、最終年度はデータベース化の作業を進捗させることを優先的に進めつつ、不足する情報を明らかにした上で、調査も進めたい。

最終的な成果は書物として出版する予定であるが、それ以前にウェブサイトで知り得た書誌情報を公開して、一定の期間大方の批正を仰いだ上で成稿化する予定である。

したがって、本研究の最終段階ではウェブで公開する基礎データの整備までを行いたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 6 件)

①高木 元「魯文の艶本」『国文学研究資料館紀要』35号、査読無、pp.115-153、2009年

②高木 元「江戸読本に見る造本意識」、『アジア遊学』109号、査読無、pp.113-124、2008年

③高木 元「魯文の売文業」『国文学研究資料館紀要』34号、査読無、pp.141-176、2008年

④服部 仁「漢文体小説『小説温泉奇遇』について」、『上方文藝研究』4号、査読無、pp.1-14、2007年

〔学会発表〕(計 2 件)

①高木 元「江戸読本に於ける文字と絵画」、ワークショップ「文字を見る、絵を読む 日本文学とその媒体」、2007年4月27-28日、日仏会館

〔図書〕(計 7 件)

①服部 仁編著「馬琴研究資料集成」全七巻、単著、288p、352p、524p、318p、820p、578p、379p、クレス出版、2006年